

ユニット 2

国際交流：災害から生まれた世界との絆

このユニットで考えること (Essential Questions)

1. 国際社会において、なぜ国際交流は大切なのか。
Why is international exchange activity important in a global society?
2. 人はどのような時に、相手を思いやる気持ちになるのか、特にどのような時に、国境を超えた国と国との助け合いが生まれるのか。
When and under what circumstances can people have empathy for others? Under what types of circumstances does international assistance between countries become possible?

Goals and Objectives

Goals

Content Goals:

- Students will understand why international cooperation takes place, and why it is important in a global society.
- They will analyze differences between international cooperation and human interaction within a country by comparing assistance provided to the affected areas in Tohoku by Japanese people and other countries.
- Students will also analyze what drives people to consider others and participate in activities that support other countries.

Language Goals:

- Students will read texts, watch videos, and discuss the significance of international cooperation and international assistance provided to the affected areas in Tohoku by other countries.
- Through various activities, students will be able to express the value of international cooperation both orally and in writing.
- Students will also be able to express their opinions about what drives people to consider others and participate in activities that support other countries.

Objectives and assessments

Objectives	Summative Assessment
Content Objectives Upon completion of this unit, students will be able to do the following:	
Explain what kind of activities the JET Program participants are involved in relating to the 3.11 tragedy.	Essay; oral presentation
Evaluate the value of participating in international programs (e.g., the JET Program).	Essay
Explain the effects of international cooperation and international assistance provided to the people and the communities of the Tohoku area faced with	Essay; oral presentation

difficulties after the 3.11 tragedy.	
Explain what the effects were on people who received support, and what kind of results were created through activities of international cooperation and assistance.	Essay; oral presentation
Explain what drives people to consider others and motives them to support other countries.	Discussion

Language Objectives Upon completion of this unit, students will be able to do the following:	Summative Assessment
(Interpretive)	
Obtain necessary information from authentic resources (websites and videos) to interpret activities conducted by the JET Program.	Write a summary
Obtain information about the importance of international cooperation through reading articles and watching videos.	Write a summary
Obtain necessary information about volunteer activities conducted by other countries for the Tohoku area.	Write a short answer
Obtain people's views, opinions, and reasons about why people around the world were willing to support the recovery of the Tohoku area by watching authentic videos.	Write an essay
(Interpersonal)	
Exchange opinions about the JET Program.	Oral discussion
Exchange opinions regarding the significance of international cooperation and international assistance in a global society.	Debate
Exchange opinions regarding the influence of international cooperation and international assistance.	Oral discussion
Discuss differences between domestic and international cooperation and interaction.	Oral discussion
Discuss under what circumstances people consider supporting others.	Oral discussion
(Presentational)	
Present findings orally and in writing about how people around the world supported the Tohoku area's recovery.	Oral presentation; essay
Present one's opinions orally about how one can support the recovery of the Tohoku area.	Oral presentation
Write a column about why international cooperation and international assistance is important in a global society.	Essay

先生方へ

はじめに

- みなさんはこれまでにボランティア活動に参加したことがありますか。いつ、どこで、どんな活動を行いましたか。 *行う (おこなう)
震災が起こった直後、校内で募金活動が行われたり、学生の中には教会の活動の一環として実際に東北地方にボランティアに訪れた人もいるかもしれません。学校で、地

域で、家庭で、教会で行った活動はないかを学習者に聞いて答えをクラス全体でホワイトボードに書き出してみてください。

2. 参加したことがある人はどうしてボランティア活動に参加しようと思いましたか。参加してよかった、または難しかったと感じたことがありましたか。それはどんなことでしたか。

このユニットの大きな目標の一つが、学習者に「人はどのような時に相手を思いやる気持ちになることができるのかを考えさせる」ことにあります、このユニットの最後にもこれを考えさせる活動があります。ここでは「はい」と答えた学習者への質問になっていますが、どういう気持ちがそうしたボランティア活動への参加を促すのか、クラス全体で話し合せてください。

3. 復興支援に関するボランティア活動について考えてみましょう。

- 3.1. もし東日本大震災のような災害がみなさんの国で起こったら、みなさんは被災地や被災者のために、どのようなボランティア活動ができると思いますか。思いつくボランティア活動を書き出してください。

アメリカでは竜巻やハリケーンの被害が多い地域があるので、そうした被害が起こった時にどんなボランティア活動をすることができるか、またどんなボランティア活動が必要か、各自が書いた後クラスで話し合せてください。

- 3.4. 他にもいろいろな復興支援の活動があります。カタカナや知っている漢字をヒントにして、意味を考えてみましょう。日本語と英語を線でつないでください。

ここから「瓦礫」という単語が使われ始めます。瓦礫は漢字、ひらがな、カタカナと3通りの表記方法があります。このユニットでは漢字にふりがなを付けて表記しました。

パート 1

I. 読む前に

1. みなさんは「JET プログラム」というプログラムについて聞いたことがありますか。JET プログラムについて、どんなことを知っていますか。グループ情報交換をしてください。

JET プログラムについて聞いたことがない学習者は、何もコメントすることができないかもしれません。ここで JET のフルネームを考えさせたり (The Japan Exchange and Teaching Program)、イラストを細かく見ることで、JET について知らない学習者も内容が想像できるのではないのでしょうか。ロゴの子どもはランドセルを背負っておりランドセルは小学生が学校に通う時に使うバックパックのようなものだと説明することで、このプログラムは小学校から関わりがあるものだと連想させることができるかもしれません。



2.1.2. ビデオの映像では、アメリカ軍の兵士は被災地でどのような活動をしていましたか。

期待する答え：瓦礫の処理、地域の修復活動、物資の支援（子供へのおもちゃの配布）パート1で復興支援活動について触れていますので、これらは映像を見た後で書き出せると思います。

2.1.3. いくつかの国と地域から支援物資が届けられましたか。

ビデオの0:52あたりからが、支援物資についてです。テロップに「163の国と地域」と出ますので、これが期待する答えです。ビデオの最初には世界中から駆けつけた各国の緊急援助隊についての説明があり、テロップに世界23の国と地域と出るので、学生の中には混乱する人がいるかもしれません。注意してください。

III. 読んだ後で

2.1. 国際交流というのは、何でしょうか。誰が、誰と、何のために、どんなことをすることでしょうか。

これはユニットの内容から国際交流とは何かを考えてもらうために作った問題ですので、これだけが正しいという答えはありません。

国際交流には草の根レベルから政府レベルのものがああり、目的も異文化に対する理解や認識を深めることから、国際社会に貢献するためと、幅広い範囲に及びます。ここでは、学習者自身がこのような災害時に地域の人々とだけでなく世界中の人々と協力し合いながら、困っている人を助けたり、困難な状況を乗り越えたりすることができるという意識を持ってもらえればと思います。

パート 2

I. 見る前に

1. 考えましょう


1.1. パート1でJET参加者のボランティアについて勉強しましたが、それ以外の外国人も被災地でボランティアをしました。どんな国の方が、どんな活動をしたと思いますか。また、知っていることはありますか。クラスメートと話し合ってください。



この答えは、出なければ出ないでもかまいません。

パート 3

I. 読む前に

2.2. 以下の人達はどのような仕事を行いますか。例にならって、仕事内容を日本語で説明してください。書き終わったら、答えをペアで比べてください。

	活動内容
	例) 火事があったとき、 <u>(消防車で駆けつけ、火を消します。)</u> 消防士の仕事は、 <u>(火事の時に火を消す)</u> ことです。

	<p>例) 事件があったとき、_____</p> <p>警察の仕事は、_____ことです。</p>
	<p>例) 病気の人が出たとき、_____</p> <p>医師（医療チーム）の仕事は、_____ことです。</p>

ここは、色々な答えがでると思います。例にあるように、仕事の内容がきちんと説明されていれば、どんな構文を使っても構いません。なかなか答えが書けないような時には、回答例にあるような例文をホワイトボードに書いたり、キーワード（火事、消防士、火、事件、事故、行方不明、病気、怪我など）を与えてあげたりすると、答えが出やすくなると思います。

- 2.3. 日本には「自衛隊」という組織そしきがあり、災害の時に様々な活動を行っています。ウェブサイトの「様々な事態への対応」というページにある自衛隊の災害時の活動内容を読み、_____にあてはまる言葉を書いてください。

日本独特の「自衛隊」という組織の活動を大まかに知ってもらうためにこの問題を作りましたが、このサイトには色々な情報があり、細かく見ていくと広がりすぎてしまい、かなりの時間がかかってしまいます。上にあげた部分だけをさっと読んで次に進むといいと思います。

期待する答え:

災害時に自衛隊はさまざまな仕事を行います。まず、災害を受けた人を助けます。行方不明になった船や航空機を探すのも、自衛隊の仕事の一つです。また水害や雪害から人や家屋を守ったり、けがや病気の人を治療したり、被災地に必要な水や食料を届けたりします。

- 2.5. 適切な言葉を 2.4.から選んで、文章を完成させてください。
- 2) 震災_____から、被災地には多くの_____やボランティアが_____され、様々な活動が _____ * _____された。

期待される答え：*のところは、開始された、展開された、どちらも可

III. 読んだ後で

- 2.2. すいせんじょう推薦状をお願いするための e メールを書く
このビデオは、パート 1、読む前に、3 の問題を行うために、一度英語版を見えています。ですので、レベルの高い学生やチャレンジしたい学生は、今回は日本語版を見ることをおすすめします。

JET Program Website (英語のサイト)

<http://www.jetprogramme.org/e/aspiring/index.html>

JET Program Website (日本語のサイト)

<http://www.jetprogramme.org/j/aspiring/index.html>

ビデオスクリプト

パート 2

II. 見てみよう

- これから世界の人々が東北のために行った支援活動についてのビデオを見ます。一度ビデオを見た後で、正しいものには○、間違っているものには×をつけてください。 <http://www.youtube.com/watch?v=fZs3zfsoNGU>

◆ 見えるものの部分は動画の画面に出る字や画像で学生が見えるもの
東日本大震災、外国人からの支援活動

◆ テロップ：そして・・・

◆ テロップ：支援隊・支援金・原油まで “支援の手” 世界から・・・（この部分は 2:03 まで画面右上に表示される）

世界中から駆けつけた各国の緊急援助隊

◆ テロップ：世界 23 の国と地域、緊急援助隊、医療支援チーム

医療支援チーム

およそ 2 万人が投入された、アメリカ軍のオペレーショントモダチ

◆ テロップ：オペレーション・トモダチ、人員：2 万 4500 人、戦艦：24 隻、航空機 189 機

そして、世界中から届けられた支援物資

◆ テロップ：支援物資、163 の国と地域、43 の国際機関

また、これまでに世界中から集められた支援金は、すでに 5000 億円を超えた。

◆ テロップ：支援金、5000 億円超

お金ではなく、原油 500 万バレルという形で支援したのはクウェート政府

◆ テロップ：クウェート、支援、原油 500 万バレル（400 億円相当）

こうした世界から差し伸べられる支援は、一年が経った今も。

◆ テロップ：支援

今週、仙台市の小学校には、台湾から 1.5 トンとバナナが届けられた。

◆ テロップ：バナナ 1.5 トン

◆ テロップ：マレーシア レイモンドさん (38) こういうような災害のときに援助をするのは当たり前じゃないかな

こういうような災害のときに、えーと、援助をするのが、まあ当たり前じゃないかと思うんですね。

◆ テロップ：中国 トさん (24) もちろん歴史の問題や領土問題 そういふのはあるんですけど

もちろん、あの、歴史の問題だとか領土問題とかそういうのはあるんですけども

◆ テロップ：中国 トさん (24) 地震のような 人間が自然災害を受けたときは話は別です

地震というような人間が自然からの災害を受ける時には、話は別です。

◆ テロップ：アメリカ ジェニファーさん (21) 結構 日本とのつながりがあるので結構日本とのつながりがあるので

◆ テロップ：アメリカ ジェニファーさん (21) これからもそういうつながりを大切にするために援助をした

まあこれからもこれからもそういうつながりを大切にするために、けっこう援助をしたい気持ちはあると思うんですよ。

(2:04~)

そして現地には、海外から、多くの民間ボランティアの姿が。

◆ テロップ：日本に駆けつけた外国人 その活動は今も続く（この部分は最後まで画面右上に表示される）、外国人ボランティア

(歌声)

◆ テロップ：その“気持ち”は今も続く・・・

◆ テロップ：山田町・山田南小学校 先月 28 日 映像提供：日本赤十字社

先月 28 日、岩手県山田町の小学校を訪れ、民族衣装に身を包み歌を披露した、台湾の子どもたち

◆ テロップ：台湾の子どもたち 映像提供：日本赤十字社

(子供達の声、歓声)

◆ テロップ：宮城県 去年 3 月 16 日 パキスタン ナジーブさん
パキスタン ナディーブさん

(人々の話し声)

震災発生当日の夜に被災地へ向け出発し、各地でカレーを振るまったパキスタン人。

◆ テロップ：(縦書き、左) パキスタン ナディームさん (横書き、中央) 私が今話している日本語もほとんどが ボランティアをしたおかげで (覚えました)

私の今、あの...話している日本語もほとんどは、あの...このボランティアのお蔭です。

◆ テロップ：名古屋市 今も続けるボランティア活動

名古屋を拠点にして、今の定期的にボランティア活動を行っているという彼ら。

◆ テロップ：被災地でのボランティア 去年 8 月まで避難所で寝泊まりしながら活動を続ける

8 月までは、避難所で寝泊まりをしながら炊き出しなどのボランティア活動を行い、被災者との交流は今も続いている。

◆ テロップ：(縦書き、左) パキスタン ナジーブさん (横書き、中央) 普段は明るく過ごしていますが今後は心のケアが必要ですね

普段はみんな、明るく元気にすごしてますね。なので、今後とも、必要になってきますね。心のケアが。

◆ テロップ：きょうも被災地へ・・・

そう話す彼らは、今日また被災地へと旅立つ。

◆ テロップ：日本に残る外国人

また今回の震災を被災地で経験したにも関わらず、ニッポンに残る選択をした外国人も。

(男性外国人) はい。